

## 体験農園レポート～植え付け開始～

ほのぼの堀之内では、生活リハビリの一環として、畑を借り体験農園を実施しています。

3月の体験農園は土を耕し、土を柔らかくして、根が伸びやすく、水はけを良くしました。土に肥料と空気を混ぜ、微生物を活性化させる事で肥料の分解が進み、良い野菜が育つそうです。



ご利用者にはクワで、畑の耕しを行って頂いた後、肥料を混ぜて、その後畝<sup>うね</sup>を作り、ジャガイモの種イモを植えたり、ホウレンソウの種を蒔いたりしました。ご利用者からは「これが種イモっていの？」「どれくらい取れるか楽しみね」とお話しされており、収穫を心待ちにされている様子でした。

## 製作活動～マスクケース作成のご報告～



先日、製作活動の一環で、マスクケースの作成を行いました。

材料はクリアファイルと両面テープ・マスキングテープのみです。

予め、クリアファイルをカットして両面テープで固定した物を皆様に好きなマスキングテープを選んで頂い

いて、思い思いに貼り付け、名前のシールを貼らせて頂きました。こちらのマスクケースはほのぼの堀之内で保管し、利用日の飲食時にお渡しし、毎日アルコール消毒を行って、衛生面にも注意して使用しています。



## ●4月のイベント情報●

・4月の体験農園は、4月5日(火)9日(土)13日(水)14日(木)29日(金)を予定しています。(5日は雨天後の為中止となりました)

## 4月・5月は小学生の交通事故が増加します

令和4年4月6日(水)～15日(金)までは『全国交通安全週間』です。ご家族様の中では日頃、お車の運転をされている方がどれ位いらっしゃいますでしょうか？

4月になり、つなぐが発行される頃には、入学式や始業式が済み、お子様・お孫様・ひ孫様が新生活を迎えられた方もいらっしゃるかもしれません。例年4月・5月は小学生の交通事故が増加すると言われています。入学式や始業式を終えた小学生が親元を離れて一人で行動する場面が増えてきます。また季節も暖かくなり、気持ちが高揚し活動的になる事で事故が増加するとも言われています。

小学1年生は6年生に比べると事故に合う確率が約3.7倍になるそうです。



～小学生1年生の事故が多い原因～

- ①身長が低い為ドライバーから見づらい
- ②交通ルールを理解していない
- ③子供の特徴としてひとつの物に注意が向くと周りが見えなくなる傾向にあり、危険が察知できなかったり安全確認を忘れてしまう事がある

子供の事故は、学校の登校中よりも、下校中や遊びに出掛けた時が多いようです。登校時は車の交通規制や集団登校で子供が守られている場合が多いのに対して下校中や遊びに出掛ける時は、おしゃべりに夢中になり、注意が散漫になるためだと考えられます。

事故の多い時間帯は下校時から遊びに出掛ける午後3時から4時台となっています。事故要因は子供の飛び出しが全体の6割を占めます。

私も先日、下校の時間帯に自宅近くを車で走っている際、コンビニの駐車場の車の影から小学生が飛び出して来て、道路を横断する場面に遭遇し、肝を冷やす事がございました。

長女が、4月から1年生になったのですが、交通ルールを説明しても、注意が散漫で急に飛び出す事があるので、これからの登下校1か月間は保護者が付き添いますので、その間に交通ルールをしっかりと説明していきたいと思います。ご家族様の中でも、こういった事を話題にして頂き、交通安全に役立てていただければと思います。(池田)